

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

今回は、約十五年前、アフリカのルワンダにて、フツ族によるツチ族大虐殺の中を奇蹟的に生き延びた熱心なカトリックのクリスチャン女性、イマキュレー・イリバギザの壮絶な体験の記録です『生かされて』・P H P 研究所より)。

「命の極限で」①

民族浄化の名のもとに突如起こった惨事は、国中で繰り広げられ、あまりの危険に国連軍は撤退。今では、惨殺された人々の数が八十万人とも百万人とも言われています。ナタを手に、隣家のフツ族がツチ族一家を老人から妊婦、赤ちゃんに至るまで皆殺しにするという地獄絵が繰り広げられました。国中に死臭が漂い、野犬が死体に群がりました。そんな中で、ミッションスクールに通う一人のツチ族の女性イマキュレーが、迫害する側のフツ族の牧師宅に身を隠します。女性六名(後に八名)で、小さなシャワールームに三か月も息を殺して身を潜めたのです。壁に背を当てひざを折って座り、その上に小柄の女性がさらに座ったそうです。外で繰り広げられる殺りくのニュースを聞き、彼女は湧き起る憎しみの感情に苦しみ、ついにはかくまってくれていた牧師にまでその念を抱くのでした。両親や兄、弟までもが殺害されたのですから無理ありません。けれども、クリスチャンであった彼女は、極限状態の中で聖書の差し入れを懇願、みことばにすがり、必死に祈ります。そして、いよいよ隠れ家が発覚すると思われた直前、目の前のドア一面に十字架がまばゆく光り輝きます。それはあたかも太陽光線の炎熱のようで、その十字架から発せられる光とぬくもりが彼女を包み、彼女は確信するのです。主が巖(いわお)となつて必ず守ってくださいと。事実、その後は奇蹟的にフランス軍に助けられ、後に国連でイリバギザ基金を創設し、各地で虐殺を免れて生き延びた人々をケアする働きに携わるようになります。『順風よし 逆境もまたよし』

佐藤彰著)

ダマスコ途上でパウロに現れた主イエスは、太陽の光のように輝いていました。その出会いがパウロを一変させ、クリスチャン迫害者から福音の伝道者に変えたのであった。「あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です」(詩篇一一九・105)とある。この暗黒の世にあつて、主の光こそ希望ではなかるうか。

それを確かなものとするためにも、聖書のお言葉におすがりしようではないか。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。